

令和6年度(2024年) 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和7年5月30日

部	教育委員会生涯学習部	課	生涯学習文化課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市北洋資料館 函館市五稜郭町37番8号		
設置条例	函館市北洋資料館条例		
指定管理者名	公益財団法人函館市文化・スポーツ振興財団	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間
指定管理者の特別な要件	芸術ホールとの隣接施設のため、芸術ホールの指定管理者に一体管理	選定区分	公募 非公募
設置目的	北洋漁業に関する資料を保管し、および展示して教育的配慮の下に市民の利用に供するため		
設置年月	昭和57年9月	建設費	230,179千円
構造規模等	鉄筋コンクリート造平屋建 建物延床面積665.34㎡ 展示室		
開館時間	開館時間 4/1～10/31午前9時～午後7時、11/1～3/31午前9時～午後5時		
休館日等	休館日 年末年始（12/31～1/3）、館内整理日（随時）		
料金体系	利用料金制の採用の有無 ■有 □無		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1)管理業務 ア 施設の維持管理に関すること（清掃、警備、施設・設備保守点検、AEDの管理、備品管理等） イ 文化芸術を振興する事業の実施に関すること （保存・展示資料を活用した北洋漁業の歴史に触れ親しむことのできる事業） 育成学習型事業 ・親子体験教室「貝殻でつくろう」 奨励型事業 ・第29回函館の「海と港」児童絵画展 ウ 利用者に関すること（受付・案内・説明、連絡調整・情報提供、入館制限、苦情対応等） エ 利用料金に関すること（利用料金の請求、減免等） オ その他教育委員会が定める業務（生涯学習情報の提供、各種書類の整理保管、市への報告等庶務業務等） (2)自主事業 ア 北洋漁業への興味・関心が深まる事業 育成学習型事業 ・冬休み特別企画「大漁旗をつくろう」 イ 関連グッズ等の売店事業			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア 広報誌「ステップアップ」、ホームページ、ラジオ、地元新聞、施設案内パンフレット、観光情報誌、観光ウェブサイト等による広報 イ 苦情処理、緊急時対応の体制整備 ウ 職員研修の実施 エ 説明員の配置			

3 市民ニーズの把握の実施状況

ア 施設利用者アンケートの実施（展示室内にアンケート箱を設置、事業参加者へのアンケート調査）

- 回答件数：484件
- 主な意見：入場料が安く、満足度が高い。独航船が楽しい。ボランティア・警備員・スタッフが親切。など

イ 主催事業アンケートの実施（主催事業実施の際に来場者アンケートを実施）

- 回答件数：69件
- 主な意見：たくさんの貝殻に触れる機会は今までなかったので、楽しい時間を過ごせてよかった。

和紙に水彩で描く感覚が初めてで、よい経験となった。など

4 施設の利用状況

• 令和6年度の月別利用者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1,925	1,871	2,028	2,242	3,291	2,801	2,212	1,713	1,239	1,023	1,257	1,579	23,181

• 年度別利用者数

	← 前期指定期間 →	← 当期指定期間 →		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	9,567人	16,172人	19,892人	23,181人
使用料収入	—	—	—	—

※ 平成30年度から利用料金制

5 指定管理者の収支状況

← 前期指定期間 → ← 当期指定期間 →

(単位:円)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入	委託料	29,920,000	25,704,329	23,618,055	22,037,426
	利用料金収入	634,330	1,197,680	1,525,020	1,763,880
	事業収入	10,000	10,000	9,000	9,500
	自主事業収入	0	338,711	0	0
	前期繰越	1,707,329	1,351,373	0	0
	計	32,271,659	28,602,093	25,152,075	23,810,806
支出	人件費	15,724,351	12,524,193	12,130,311	10,780,010
	燃料費	489,720	509,266	427,585	422,025
	光熱水費	1,502,932	1,874,094	2,189,346	2,245,326
	委託料	5,562,630	5,565,194	4,780,245	5,236,140
	修繕費	1,245,420	500,813	261,800	529,118
	その他の支出	6,395,233	6,277,160	5,362,788	4,598,187
	計	30,920,286	27,250,720	25,152,075	23,810,806
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		3,127	1,589	1,187	951

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 ☒有 ☐無

ア 管理業務実績報告書を毎月提出、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 利用者アンケートを実施

ウ 評価シートによる自己評価を実施

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	・年に2回の財団内研修や他団体主催の研修や接遇研修に参加したほか、障害者差別解消法に関する知識を深めるため、関連する研修に積極的に参加した。 ・入館料については、券売機を導入し、適切に入館料を徴収しているほか、団体入館あるいは減免入館については、事前に各申請書の提出を求める等、適切な管理を行っている。 ・定期的に資料保存のための燻蒸を行うとともに、函館市博物館の学芸員指導のもと、資料及び施設の管理を実施している。 ・職員全員で危機管理マニュアルを確認しながら、日常業務を進めている。	継続して適切な保守点検に努め、快適に観覧していただける環境を提供する。観光客だけではなく、函館市民の来館者数の増加につなげるため、「函館の海と港児童絵画展」や「貝殻でつくろう」、「冬休み特別企画 大漁旗をつくろ」などの自主事業の際には、北洋資料館の展示内容等の説明を行い、来場を促している。今後は、より多くの市民に参加していただけるよう、自主事業の一層の充実を目指したい。
サービスの 質の状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	・常にお客様ファーストの対応を心がけており、館内アンケートではスタッフが親切だったと喜ばれている。 ・個人情報に記載されている書類等については、キャビネットに保管した上で施錠している。 ・施設利用者向けのアンケート箱を常設し、利用者の要望を把握するとともに、その反映に努めている。 ・ホームページのほか、財団広報紙「ステップアップ」を活用するとともに、地元新聞等を利用し、積極的に情報発信を行っている。 ・年2回ボランティア清掃に参加し、地域に貢献している。	来館者へのアンケート調査の回答等を参考に、今後も質の高いサービスを提供していくとともに、ホームページやSNS、雑誌媒体を活用し、函館市民および市民以外の方にも積極的に情報発信していきたい。職員の資質向上を目的として函館歴史文化観光検定（はこだて検定）のテキストを教材とした学習を今後も継続するとともに、海外からの旅行者に対し、コミュニケーションが図れるよう、英語力を高めるための研修に参加したい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	・事業収支および経営状況ともに適正に行っている。	今後においても、事業収支および経営状況ともに、より一層適正に行うとともに、安定した事業運営に努力してまいりたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	・年2回の職員研修のほか、障害者差別解消法の研修に参加など、職員の資質を高める取組を実施している。 ・受付に函館歴史文化観光検定（はこだて検定）合格者を常時配置している。 ・ボランティア団体「つくしの会」と連携し、館内説明に対応する等、サービス向上に努めている。 ・年に1度、本部による検査を実施するなど、適正な保守管理に努めている。	築43年が経過し、老朽化により修繕が必要な設備も多くあるが、日頃から保守点検を行い異常の早期発見に努め、迅速に補修等の対応がなされている。 今後も来館者が安全に安心して利用できる環境の保持に努めていただくとともに、北洋漁業に対する興味・関心を高め、観光客のみならず市民も施設を訪れるきっかけになるような、魅力ある各種事業の実施を期待する。
サービスの質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	・研修会や接遇研修に実施する等、業務力向上に努めている。	ボランティア団体と連携した館内説明に加え、従業員の資質向上に努めているほか、各種広報媒体を利用した積極的な情報発信に努めており、来館者の満足度向上に寄与している。 利用者数も増加傾向にあることから、今後もより多くの来館者に満足してもらえよう、施設の管理運営に努めていただきたい。
団体の経営状況	☒ A ☐ B ☐ C	・事業収支は適正であり、経営状況はおおむね良好である。	今後も経費節減に努め、安定した事業運営に努めていただきたい。

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。